別紙様式６

令和6年度　　　学 校 評 価 表　　　（ 中間評価 ・ 最終評価 ）　　　東広島市立入野小学校

学校教育目標	「夢と志」をもち、主体的に生きる児童の育成	経営理念	ミッション：自分も相手も大切にし、自ら考えて行動することができる児童の育成 ビジョン：信頼される学校づくり

評価計画							自己評価					学校関係者評価 （学校運営協議会による評価）		改善方策
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値 ９月	達成値 １月	達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
確かな学力	1	主体的に学ぶ楽しさが味わえる授業づくりをすることで、確かな学力をつける。	☆知識・技能の習得	○ICT機器を効果的に活用した授業を行う。 ○スキルタイムを継続して実施し、児童一人一人に応じた指導を行う。	・NRT、標準学力調査標準スコア（国語・算数）	児童 50								
			○個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る授業改善	○授業のユニバーサルデザイン化を図り、個別最適な学びと協働的な学びを生かした授業改善を行う。 ○ユネスコスクールとして、SDGsの達成を目指し、地域創生プロジェクトで体験活動を実施するとともに、教育活動全体を通じて表現したくなるような場面設定を行い、表現する機会を設ける。	・授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。 ・自分の地域の良さを表現している。 ・児童が表現したくなるような指導の工夫をしている。	児童 85% 児童 85% 教職員 100%								
豊かな心	2	自己有用感や社会性を高め、豊かな心を育む。	☆東広島スタンダードの定着	○委員会活動や高学年による活動等において、挨拶レベルの向上のための取組を設定する。 ○全校朝会等で、挨拶等について称賛する。	・あいさつレベル４以上の児童	児童 90% 教職員 80%								
			○自己有用感の向上	○各学級において、お互いを褒め合う場面を定期的に設定する。	・自分の頑張りを認められ、嬉しいと感じたことがある。 ・自分は人の役に立っている。	児童 90% 児童 90%								
健やかな体	3	基本的生活習慣の定着や健康や安全について理解し、健やかな体をつくる。	☆学習姿勢の意識化	○姿勢を安定させることが健康の保持につながることを学習させ、授業の開始・終了時に意識させる。	・姿勢を安定させることが健康のために大切であることを知っている。 ・立腰を意識し、取り組んでいる。	児童 80% 児童 80%								
			○運動・外遊びの奨励	○委員会活動を中心に、運動や外遊び奨励の取組を企画・実行するとともに、環境整備を進める。	・運動や外遊びが好きである。	児童 90%								
信頼される学校	4	教職員一人一人の働き方に対する意識の醸成を図り、児童と向き合う時間を確保する。	○保護者や地域に開かれた学校の実現	○保護者対象アンケートを実施し、その都度、改善方策を検討するとともに、学校の様子を保護者や地域に発信する。	・学校は、学校の様子を分かりやすく伝えている。	保護者 90%								
			○業務改善の推進	○児童と向き合うための教職員同士の対話を通して、アイディアを共有し、改善意識や同僚性を高める。 ○管理職への報告・連絡・相談を徹底し、スピード感をもって対応する。	・自分が掲げた目標に向かって仕事ができている。 ・児童と向き合う時間（授業準備等含む）が確保できている。	教職員 90% 教職員 85%								

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「１」「２」「３」で表示する。

■自己評価
●4（目標を上回って達成）≧105%　　●105%＞3（目標どおりに達成）≧95%
●95%＞2（目標をやや下回って達成）≧70%　　●70%＞1（目標をかなり下回って達成）

■学校関係者評価（学校運営協議会による評価）
A…とても適切である　B…概ね適切である
C…あまり適切でない　D…全く適切でない
（N…判定できない）